

初めてで、このフォーラムに

もれている歴史的価値の高い「有形文化財の円空仏像や石像

釧新郷土芸術賞に輝く

□下□

受賞者の横顔

小5で書道を体験

檜山管内上磯町(現北斗市)

生まれ。小学5

年生の時、授業

で初めて書道を

体験する。「先生

に字を褒められ、やる気にな

った」(高橋氏)と本格的に書

道を志した。江差高校時代、担

任で書道部顧問の金丸蘇洞教

諭の影響で、学芸大学釧路分

校(現道教育大釧路校)書道科

に進学し、同校の山口野竹教

授に師事。1962年に卒業

後、釧路市立緑陵中学校(現青

陵中)を皮切りに同弥生中、

人との交流

厚岸町立上尾幌中、標茶町立

阿歴内中で教壇に立った。

受賞歴は57年日本美術院展

入賞、緑陵中時代の63年に毎

日書道展に入選し、同年同中

書道部を北海道学生書道展中

学校部団体最優秀校に導く。

書に生きる

賞。99年に同展会友に推挙さ

れ、退会する2003年まで

会友を務めた。

書を学ぶ入り口に

現在釧路市文化団体連絡協

議会会長、北海道文団連副会

第38回北海道書道展に連続入

選、

92年から99年にかけて第36回

から活動再開し、同年から

92年まで毎日書道展に入選、

97年から99年にかけて第36回

第38回北海道書道展に連続入

選、

92年まで毎日書道展に入選、

97年から99年にかけて第36回

第38回北海道書道展に連続入

選、

口になれば」と

評価する。

また書の壁に

ぶつかった場合

の攻略法として「人の作品を

見たり、その作者と謙虚に交

流する。毎日書くことが大切」

と話す。現在は文字の造形を

媒介に墨色の美しさを表現す

る作品作りを取り組んでい

る。



高橋 臨川さん(72)
(本名・佐吉) (釧路市)

書道

文字の造形を媒介に墨色の美しさを表現する作品に
取り組む高橋氏